

# 座間養しター12月号

座間養護学校は、昭和 54 年の「養護学校義務制」と同時に開校した学校ですが、鎌倉養護学校も一緒に開校しました。校舎の造りが実は共通しています。座間養護学校は、校舎の真ん中が広場になっていますが、鎌倉養護学校は、校舎の真ん中が体育館になっています。このような造り方、「義務制」以前に造られた学校から引き継がれており、今なお新設校に引き継がれています。なぜ校舎の真ん中をこのように造ったかという、自然に児童生徒が交流できるようにとの思いからです。

みなさん、ご存知でしたか？

※横浜北部方面の新設校は「神奈川県立あおば支援学校」として令和 2 年 4 月から、新転入生を迎えます。

副校長 佐藤 浩栄

◇ 学部より ◇ 今月は、小学部・高等部北・有馬分教室の様子をお知らせします。

## 小学部 校外学習

11 月 8 日(金)に 4、5、6 年生は『海老名図書館』に校外学習に行ってきました。入谷駅から乗った電車ではみんな笑顔いっぱいでした。図書館では友だちと絵本を読んだり、大型絵本を選んで借りたりと楽しい時間を過ごしました。もちろんお弁当もモリモリ食べてきましたよ～。

## 高等部北 秋の校内実習

10 月 21 日～11 月 1 日まで、高北では全学年を 3 グループに分けて実習に取り組みました。卒業後の生活をイメージし、午前中は作業、午後はリラックする時間という日課で、「せっけん作り」「ワイヤーアート作成」「新聞製作」をそれぞれのグループで進め、大きな成果を収めました。生徒たちは実習に楽しく参加し、最終日には、それぞれが仕事をやり切ったという充足感を味わっていました。ここでは各グループでの活動の様子を紹介します。

# 有馬分教室 校内実習・現場実習

校内実習・現場実習の様子をお伝えします。10月21日から11月1日まで校内ではPC周辺機器等の機械解体、店舗や工場など各事業所での現場実習が行われました。

校内実習では、「いい会社を作ろう」をスローガンに工場がワンチームとなって取り組みました。最後の機械が解体され、実習材の箱が空っぽになったときは、みんなから喜びの拍手がおきました。現場実習では、それぞれの生徒が自分の課題に向かい、働くことの厳しさややり遂げる充実感を味わいました。

そして、実習報告会。成果を一人ひとりが発表しました。堂々とした態度には充実感、そして自分の課題を再認識する姿が見られました。

## 第17回ティーボール大会

11月2日（土）に保土ヶ谷公園硬式野球場でティーボール大会が行われました。

座間養護学校からの参加者は12名でした。

レクリエーション部門・競技部門に参加し、競技部門は優勝しました。

参加したみなさん、おめでとうございます。

